

2021年度 第359回教育研究審議会議事要録

日時 2021年6月8日(火) 13:30~14:50
場所 遠隔会議 (Teams利用)
出席者 松尾学長、柳井副学長、龍副学長、二宮副学長、中尾副学長、中本事務局長
伊藤外国語学部長、浦野経済学部長、田島文学部長、田村法学部長、内田地域創生学群長、
上江洲国際環境工学部長、廣渡基盤教育センター長、八百社会システム研究科長、
工藤マネジメント研究科長、重松法学研究科長、下野学生部長、後藤教務部長、
狭間入試広報センター長、浅羽情報総合センター長、中武環境技術研究所長

配布資料

- 1-1 令和2(2020)年度計画及び第3期中期目標期間に係る自己点検・評価報告書(案)について
- 1-2 令和2年度計画及び第3期中期目標期間(平成29年度~令和4年度)に係る自己点検・評価報告書(案)
- 1-3 IV評価及びII評価の理由(別紙)
- 1-4 令和2(2020)年度計画及び第3期中期目標期間に係る自己点検・評価報告書(案)の主な変更点
- 2 認証評価(第3サイクル)受審機関の変更について
- 3 本学における数理・データサイエンス・AI教育の導入について
- 4 2021年度 入試広報計画
- 5 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)事後評価結果
- 6 2020年度学部卒業生の就職状況について
- 7 北方キャンパス学部・学群における就職支援の取組推進について

第1号 2020年度計画および第3期中期目標期間に係る自己点検・評価(案)について

* 資料1のとおり、2020年度計画および第3期中期目標期間に係る自己点検・評価(案)について提案。

- 第358回教育研究審議会(2021年5月18日開催)において、各部局に進捗状況および実施状況の確認を依頼した2020年度計画及び第3期中期目標期間に係る自己点検・評価(素案)について、修正意見等を内部質保証推進室でとりまとめ、最終案として提案するもの。今回の教育研究審議会で承認されれば、6月22日開催の経営審議会・役員会で審議いただき、公立大学法人北九州市立大学評価委員会に提出する予定としている。
- No.31の計画における「2021及び2022年度の実施予定」欄の「長期インターンシップの単位化(地域創生学群)等を行う。」という表記について、長期インターンシップはすでに単位化しているため、「長期インターンシップ(地域創生学群)等を行う。」という表記に修正いただきたい。
- 当該部分については修正を行うこととする。
- No.17の計画について中期計画の見込評価でII評価とされたのは、大学院の定員充足率が今後2年間も改善の見込みがないと判断されたということか。
- 大学としては今後2年間についても改善に期待しているが、過去の評価でもII評価とされている項目であり、入試という先の見通しが難しい性質上、抜本的な改善が望めないことを鑑みると中期計画の見込評価ではII評価とせざるを得ない。
- 6年間の実績をはかる際の指標の一つとして、過去6年間の定員充足率の平均値が想定される。今後2年間で定員充足率が劇的に上昇し、平均値が基準内に収まる可能性は低いのではないか。

【議長】一部資料修正のうえ、提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第2号 認証評価（第3サイクル）受審機関の変更について

* 資料2 のとおり、認証評価受審機関の変更について提案。

- 第3サイクルの認証評価は大学改革支援・学位授与機構で受審することが決定していた。その後、受審年度について新型コロナウイルスの影響により、当初の予定から1年延期したことから、受審機関の再検討を行うこととなった。そのような中、公立大学協会が設立した大学教育質保証・評価センターが2020年度に機関別認証評価を開始したこともあり、両機関が実施する認証評価の制度設計や他の公立大学の受審状況、評価の内容、受審に係る作業負担・費用負担等、総合的に勘案した結果、本学の受審機関を大学改革支援・学位授与機構から大学教育質保証・評価センターへの変更を提案するもの。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第3号 本学における数理・データサイエンス・AI教育の導入について

* 資料3 のとおり、本学における数理・データサイエンス・AI教育の導入について提案。

- 政府が策定した「AI戦略2019」では、全ての大学・高専生が文理を問わず、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得することが具体目標に設定された。本学においても、リテラシーレベルの数理・データサイエンス・AI教育を基盤教育科目として2022年度に開講したい。については、具体的な検討を基盤教育センターに依頼したい。
- 新規科目を現行カリキュラムで開講するということであるが、教員配置についてはどのように考えているか。
- 退職した基盤教育センターの教員のポストについて一部採用を保留しているため、そのポストをデータサイエンス科目の担当に充てたい。
- 科目の検討を行う際には、大きな基本方針から決めるような形で検討を進めてはどうか。また、全学のデータサイエンス教育の目的に鑑み、情報総合センター等との連携、サポート体制が必要である。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 2021年度入試広報計画について
- ② 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）事後評価結果について
- ③ 2020年度卒業生の就職状況について
- ④ キャリアセンターの就職支援事業について
- ⑤ 第44回・第45回緊急対策本部会議での協議内容について（口頭）